

旧第 11 通学区 高等学校教育懇話会 第 5 回会議 次第

日 時：令和 3 年 7 月 29 日(木) 午前 10 時
場 所：あがたの森文化会館 講堂(ホール)

1 開 会

2 あいさつ

3 会議事項

(1) 資料説明

入学者選抜の結果について 他 【資料 1】

(2) 意見・要望の検討

意見・要望書（仮題）「たたき台」 【資料 2】

意見・要望に係る論点整理 【資料 3】

(3) 今後の進め方について

第 6 回会議 日 時 令和 3 年 9 月 21 日（火）18 時 00 分（2 時間程度）

会 場 長野県総合教育センター 講堂

4 閉 会

【配布資料】

式次第を表紙に綴じたもの	
長野県教育委員会事務局 説明資料	【資料 1】
旧第 11 通学区高等学校教育懇話会 意見・要望書（仮題）「たたき台」	【資料 2】
意見・要望に係る論点整理	【資料 3】

旧第 11 通学区高等学校教育懇話会 開催経緯

【懇話会】

	主な論点 等
<p>第 1 回 令和元年 12 月 16 日 (月) 松本合同庁舎 講堂</p>	<p>①「高校改革」の理念の共有方法 ②義務教育と高校の関係 ③普通校と専門校、定時制・通信制の関係 ④私立高校の存在 ⑤教員の質、研修の必要性 ⑥合意形成の図り方</p>
<p>第 2 回 令和 2 年 10 月 16 日 (金) 松本合同庁舎 講堂</p>	<p>①地域との連携強化 (公私ともに) ②高校間の連携 ③学びを校外にどう開くか ④キャリアを中軸とした学びの展開 ⑤知識を活用する学び ⑥最先端の学びを支える施設・設備 ⑦子どもたちにとって魅力ある学びとは ⑧子ども視点の環境整備</p>
<p>第 3 回 令和 3 年 3 月 16 日 (火) 安曇野市役所 大会議室</p>	<p>①研究部会からの報告 研究部会 I (松本市教育長) ・公立高校における情報発信、情報提供 ・私立高校と役割の分担 ・定時制、通信制の充実、セーフティネット ・部活動のあり方 ・地域連携、学校間連携 研究部会 II (塩尻市教育長) ・高校間連携、中学と高校の連携、接続の在り方 ・ICT教育の重要性 ・特別支援教育の充実、高校における通級教室整備 ・教育界と産業界との連携、コミュニティースクール 研究部会 III (安曇野市教育長) ・公立高校の役割の明確化、高校間連携 ・少子化の現実を直視した学校数 ・定員割れの現実に対する対応 ・大規模、小規模の高校バランスを考慮 ・総合技術高校に関しては賛成、反対がある。 ②主な意見 ・普通科重視、専門学科軽視ではないか ・教員の在籍年数を伸ばし、魅力ある高校づくりを ・公私の枠を取り払い、全体のあり方を示すべき ・高校の将来像に対する自治体間の温度差がある ・専門教育は探究を中心とする高校教育の大きな柱 ・30年、40年先を見据えた教育の在り方に取り組む</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・県立普通校を減らす以外に方法がないのでは ・高校教育と義務教育の連携 	
<p>第4回 令和3年5月24日(月) 塩尻市保健福祉センター 市民交流室</p>	<p>①安曇野・大北地域の高等学校を考える合同部会報告 ②意見聴取の結果について</p> <table border="1"> <tr> <td> <p>(量的調査) 中高生のWebアンケート 小中高PTA役員、高校同窓会役員 (質的調査) 高校生による高校のあり方フォーラム 中学生への対面ヒアリング</p> </td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・松本市を中心として教育環境が充実 ・公立と私立の比率を撤廃したらどうか ・先生のスキルアップ <p>③産業界が求める生徒像</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定時制の学びから目をそらせてはならない ・中央・地方、大企業・中小企業で違う ・地元企業に就職する意欲のある生徒 ・様々な勉強(リベラルアーツ)をしてきた生徒、考え方の循環ができる生徒を望む ・中高生の望みを大事にという割には地域エゴやOBの郷愁が多いのではないか、恐ろしい少子化の再認識を <p>④PTAの立場から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生を信頼して子どもを預けている ・子どもが集められる情報が少ない <p>⑤論点等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置主体の長野県、長野県教育委員会がもう一步踏み込んだ情報発信と論点整理を 	<p>(量的調査) 中高生のWebアンケート 小中高PTA役員、高校同窓会役員 (質的調査) 高校生による高校のあり方フォーラム 中学生への対面ヒアリング</p>
<p>(量的調査) 中高生のWebアンケート 小中高PTA役員、高校同窓会役員 (質的調査) 高校生による高校のあり方フォーラム 中学生への対面ヒアリング</p>		

【住民説明会】

	塩尻会場	松本会場	安曇野会場
日時	令和2年2月12日(水)	令和2年7月28日(金)	令和2年8月28日(金)
会場	塩尻市保健福祉センター市民交流室	松本合同庁舎 講堂	豊科公民館大ホール
参加者	49名	107名	124名(1回目) 146名(2回目)

【研究部会／合同部会】

研究部会	I(松本)	II(塩尻)	III(安曇野)
第1回	11月9日(月)	11月9日(月)	11月20日(金)
第2回	12月21日(月)	12月17日(木)	12月24日(木)
第3回	2月12日(金)	2月9日(火)	2月12日(金)
安曇野・大北地域の高等学校を考える合同部会			3月11日(木)
			4月26日(月)
			5月14日(金)

【質的調査】

学校名・対象	調査の概要
松本市立山辺中学校	令和3年4月27日(火) 16:30~17:45 座長、松本市教育長、教育部長、生徒による座談会
塩尻市立塩尻中学校	令和3年5月6日(木)13:35~14:50 座長、塩尻市教育長、3年全員のグループワーク
安曇野市立豊科南中学校	令和3年5月11日(火) コロナ対応のため延期
高校生	令和3年4月26日(月) 16:15~17:45 オンライン「高校生による高校のあり方フォーラム」 17校(県立13校、私立4校)、生徒32名 信州大学・大学院生、地区内教育長

【量的調査 (Webによる調査)】

対 象	調査の概要	
中学2・3年生 [Webによる調査]	調査期間	4月12日(月)~5月13日(木)
	調査対象	公立中学校36校 7,232名(2,3年生)
	回 答 数	33校 5,391名(回収率74.5%)
高校生全学年 (公私、全定) [Webによる調査]	調査期間	4月12日(月)~5月13日(木)
	調査対象	18校 11,238名(県立13校、私立5校)
	回 答 数	17校 8,645名(回収率76.9%)
小中高PTA役員 高校同窓会役員	調査期間	4月12日(月)~5月7日(金)
	回 答 数	208名(Web、FAX、メール、郵送)

※生徒数は県立高校4/8、私立高校4/10、公立中学校5/7(あさひ分校、桐分校、波田学院を除く)の数。

旧第 11 通学区 高等学校教育懇話会 開催要綱

1 目的

この懇話会は、長野県教育委員会が「高校改革～夢に挑戦する学び～実施方針」において示したこれからの高校の学びのあり方等を踏まえ、旧第 11 通学区内の将来を見据えた高校教育について検討し、長野県教育委員会に意見・要望することを目的に開催する。

2 構成及び運営

(1) この懇話会は旧第 11 通学区の以下の役職者等により構成する。

- ・市村長
- ・市村教育長
- ・産業界の代表
- ・地域振興局長
- ・PTAの代表
- ・中学校長会の代表
- ・高等学校長会の代表
- ・その他地域の実情に応じた者

(2) 懇話会には座長及び副座長を置く。座長及び副座長は構成員から選ぶものとする。

(3) 座長は、懇話会を招集し、主宰する。

(4) 副座長は、座長を補佐し、座長に事故あるときはその職務を代理する。

(5) 座長は、必要があると認めるときは、会議に構成員以外の者の出席を求めることができる。

(6) その他、懇話会の運営に関して必要な事項は、座長が別に定める。

3 開催期間及び構成員の任期

この懇話会の開催期間及び構成員の任期は、長野県教育委員会に意見・要望を提出するまでとする。

4 議事等の公開

会議は公開とする。ただし、座長の判断により一部非公開とすることができる。

5 事務局

この懇話会の運営のために長野県教育委員会と関係市村教育委員会で事務局を設置する。

なお、事務局の役割分担は次の各号のとおりとする。

(1) 県教育委員会 構成員の選任、会議用資料の収集・作成、会議の運営等

(2) 市村教育委員会 構成員の選任、会議の日程調整及び通知発出、会議の運営等

附 則

この要綱は令和元年 12 月 16 日より適用する。

旧第11通学区 高等学校教育懇話会 構成員名簿（令和3年度 7月～）

（敬称略）

氏名	区分	役職等	備考
臥雲 義尚	市 村 長	松本市長	
小口 利幸	市 村 長	塩尻市長	
宮澤 宗弘	市 村 長	安曇野市長	
藤澤 泰彦	市 村 長	生坂村長（東筑摩郡村長会長）	
伊佐治 裕子	市村教育長	松本市教育長	副座長
赤羽 高志	市村教育長	塩尻市教育長	
橋渡 勝也	市村教育長	安曇野市教育長	
根橋 範男	市村教育長	山形村教育長	
飯森 力	市村教育長	麻績村教育長	
滝澤 昭文	市村教育長	筑北村教育長	
樋口 雄一	市村教育長	生坂村教育長	
百瀬 司郎	市村教育長	朝日村教育長（東筑摩郡町村教育委員会連絡協議会長）	
田中 均	産 業 界	J A松本ハイランド 代表理事組合長	
千國 茂	産 業 界	J Aあづみ 組合長	
平林 正吉	産 業 界	松本機械金属工業会 会長	
降幡 真	産 業 界	長野県建設業協会 安曇野支部長	
井上 保	産 業 界	松本商工会議所 会頭	
中島 芳郎	産 業 界	塩尻商工会議所 会頭	
高橋 秀生	産 業 界	安曇野市商工会 会長	
荒井 英治郎	その他地域の実情に 応じた者	国立大学法人信州大学 教職支援センター 准教授	座長
草間 康晴	地域振興局長	長野県松本地域振興局長	
山本 美帆	P T A	松本市P T A連合会 会長	
坂下 和己	P T A	東筑摩塩尻P T A連合会 会長	
向山 啓二郎	P T A	安曇野市P T A連合会 会長	
横田 則雄	中学校長会	松本市中学校長会長（松本市立山辺中学校長）	
小林 順一	中学校長会	東筑摩塩尻中学校長会長（塩尻市立塩尻中学校長）	
早川 正美	中学校長会	安曇野市中学校長会長（安曇野市立豊科南中学校長）	
杉村 修一	高等学校長会	松本県ヶ丘高等学校長	
清水 寛	高等学校長会	田川高等学校長	
保坂美代子	高等学校長会	豊科高等学校長	

事務局

市村教育委員会	松本市教育委員会 麻績村教育委員会 山形村教育委員会	塩尻市教育委員会 筑北村教育委員会 朝日村教育委員会	安曇野市教育委員会 生坂村教育委員会
長野県教育委員会	上原 一善	長野県教育委員会事務局高校教育課 高校再編推進室 主幹指導主事	
	山岸 明	長野県教育委員会事務局高校教育課 高校再編推進室 主任指導主事	